

福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	地域救急医療支援講座(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 4: 341-343
Issue Date	2024-03-21
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/2349
Rights	©2024 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-07-18T03:25:34Z

地域救急医療支援講座

論 文

〔原 著〕

Sorimachi K, Muto K, Sugaya K, Ueno S, Onodera M, Ohira T, Tsubokura M, Iseki K. Characteristics of Patients Transported by Doctor-Requested Helicopters After Japan's 2011 Nuclear Incident. *Disaster Medicine and Public Health Preparedness*. 202207; 17(24):e161.

横藤壽, 藤野靖久, 藤田友嗣, 高橋学, 小野寺誠, 井上義博. 岩手医科大学高度救命救急センターで治療した有機リン中毒 62 症例の検討. *岩手医学雑誌*. 202210; 74(4):131-141.

星野風沙, 矢野徹宏, 鈴木剛, 三澤友誉, 小野寺誠, 田勢長一郎, 伊関憲. 福島県ドクターヘリにおける近距離からの搬送手段の検討. *日本航空医療学会雑誌*. 202206; 23(1):20-25.

小野寺誠, 塚田泰彦, 鈴木剛, 三澤友誉, 上野智史, 全田吏栄, 菅谷一樹, 武藤憲哉, 反町光太郎, 伊関憲. 福島市における救急搬送困難事案に対する地域救急医療支援講座による二次救急輪番当直支援の効果. *福島医学会雑誌*. 202208; 72(2):57-64.

〔総説等〕

小野寺誠, 伊関憲. クリニカル・トキシコロジストが語るケーススタディ (第 6 回) 自殺目的に 2 度トリカブトの根を摂取し、いずれも VA-ECMO の導入により救命したトリカブト中毒の 1 例. *中毒研究*. 202209; 35(3):205-210.

〔症例報告〕

武田紗希, 上野智史, 鈴木剛, 小野寺誠, 加藤菜穂, 西形里絵, 伊関憲. 急性カフェイン中毒患者に実施した血液浄化法の評価. *中毒研究*. 202209; 35(3):186-191.

関根萌, 岩淵雅洋, 鈴木剛, 全田吏栄, 小野寺誠, 武田紗希, 伊関憲. 尿中シュウ酸カルシウムと乳酸ギャップを治療指標としたエチレングリコール中毒の 1 例. *日本救急医学会雑誌*. 202207; 33(7):304-309.

武藤憲哉, 菅谷一樹, 全田吏栄, 三澤友誉, 矢野徹宏, 鈴木剛, 小野寺誠, 伊関憲. 心室細動を発症した薬剤性低カリウム血症の 1 例. *日本臨床救急医学会雑誌*. 202206; 25(3):607-610.

菅谷一樹, 長井健一郎, 黒見洋介, 武藤憲哉, 全田吏栄, 大久保怜子, 塚田泰彦, 藤井正純, 小野寺誠, 伊関憲. 二次爆傷による脳脱を伴う頭部外傷の経過良好例. *日本臨床救急医学会雑誌*. 202208; 25(4):711-716.

菅谷一樹, 鈴木光子, 全田吏栄, 鈴木剛, 岩淵雅洋, 小野寺誠, 伊関憲. 縊頸後の高度意識障害に対し中心静

脈留置型経皮的体温調整システムを用いて体温管理療法を行った1例. 日本臨床救急医学会雑誌. 202210; 25(5):871-875.

全田吏栄, 矢野徹宏, 武藤憲哉, 菅谷一樹, 海老原研一, 反町光太郎, 鈴木剛, 佐藤ルプナ, 小野寺誠, 伊関憲. 2回目の抗毒素血清の投与によりアナフィラキシーショックとなったマムシ咬傷の1症例. 麻酔. 202205; 71(5):546-550.

鈴木光子, 塚田泰彦, 矢野徹宏, 金悠路, 岩淵雅洋, 伊関憲. 心停止で搬送された急性喉頭蓋炎の1症例. 臨床麻酔. 202201; 46(1):77-79.

書籍等出版物

小野寺誠. 中毒性疾患 有機リン・カーバメイト中毒. In: 福井次矢, 高木誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針: 私はこう治療している 2022年版 (Vol.64). 東京: 医学書院. 202201. p.133-134.

研究発表等 (講演・口頭発表等)

〔研究発表〕

武藤憲哉, 菅谷一樹, 全田吏栄, 金悠路, 三澤友誉, 大久保怜子, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. 自殺目的にキョウチクトウを摂取した1例. 第35回日本中毒学会東日本地方会; 20220122; Web. プログラム・抄録集. 32.

大久保怜子, 武藤憲哉, 大山亜紗美, 金悠路, 矢野徹宏, 塚田泰彦, 伊関憲. COVID-19患者に対する腹臥位療法と栄養の検討. 第49回日本集中治療医学会学術集会; 20220318-20; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 29:483.

鈴木剛, 鈴木光子, 全田吏栄, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 小野寺誠, 伊関憲. 呼吸不全を伴うCOVID-19治療中に高アミラーゼ血症を呈した2症例. 第49回日本集中治療医学会学術集会; 20220318-20; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 29:707.

武藤憲哉, 大山亜紗美, 金悠路, 矢野徹宏, 大久保怜子, 塚田泰彦, 鈴木剛, 岩淵雅洋, 小野寺誠, 伊関憲. VV-ECMO施行中の腹臥位療法により、出血合併症としての巨大腹直筋内血腫を認めた1例. 第49回日本集中治療医学会学術集会; 20220318-20; Web. 日本集中治療医学会雑誌. 29:711.

菅谷一樹, 鈴木光子, 武藤憲哉, 全田吏栄, 鈴木剛, 岩淵雅洋, 小野寺誠, 伊関憲. 総頸後の高度意識障害に対し、中心静脈留置型経皮的体温調整システムを用いて体温管理療法を行った1例. 第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20220527; 大阪/Web. 日本臨床救急医学会雑誌. 25(2):389.

鈴木光子, 菅谷一樹, 鈴木剛, 全田吏栄, 三澤友誉, 岩淵雅洋, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. シアン中毒の一救命例. 第44回日本中毒学会総会・学術集会; 20220715-16; Web. 中毒研究. 35(2):152.

菅谷一樹, 武藤憲哉, 全田吏栄, 鈴木剛, 小野寺誠, 伊関憲. 福島県北地区での重傷外傷におけるドクターカー一搬送の現状と課題. 第36回東北救急医学会・学術集会; 20220716; 会津若松/Web. プログラム・抄録集. 41.

大山亜紗美, 小野寺誠, 鈴木剛, 全田吏栄, 鈴木光子, 後藤沙由里, 伊関憲. 診断に苦慮した正常血糖糖尿病性ケトアシドーシスに高Na血症を合併した一例. 第50回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web. 日本救急医学会雑誌. 33(10):740.

全田吏栄, 後藤沙由里, 鈴木光子, 大山亜紗美, 鈴木剛, 小野寺誠, 伊関憲. 自殺目的に混合型インスリンを大量皮下注射し低血糖が遷延した1例. 第50回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web. 日本救急医学会雑誌. 33(10):741.

鈴木剛, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関憲. 神経性食思不振症による心停止はECMOで救う! 第50回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web. 日本救急医学会雑誌. 33(10):820.

小野寺誠, 後藤沙由里, 関根萌, 鈴木光子, 菅谷一樹, 大山亜紗美, 全田吏栄, 三澤友誉, 鈴木剛, 塚田泰彦, 伊関憲. 福島市におけるコロナ禍前後での救急搬送困難事案の検討. 第50回日本救急医学会総会・学術集会; 20221019-21; Web. 日本救急医学会雑誌. 33(10):853.

[特別講演]

小野寺誠. 救急における急性中毒診療—身近に潜む中毒を中心に—. 第36回東北救急医学会・学術集会; 20220716; 会津若松Web.

地域産婦人科支援講座

論 文

[原 著]

Murata T, Kyojuka H, Fukuda T, Imaizumi K, Isogami H, Yasuda S, Yamaguchi A, Sato A, Ogata Y, Shinoki K, Hosoya M, Yasumura S, Hashimoto K, Nishigori H, Fujimori K; Japan Environment and Children's Study (JECS) Group. Meconium-stained amniotic fluid during labor may be a protective factor for the offspring's childhood wheezing up to 3 years of age: the Japan Environment and Children's Study. *European Journal of Pediatrics*. 202208; 181(8):3153-3162.

Kojima M, Soeda S, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Endo Y, Nomura S, Tokuda E, Furukawa S, Kataoka M, Fujita S, Saji S, Watanabe T, Fujimori K. Successful management of pelvic recurrence of MSI-High endometrial cancer by total pelvic exenteration followed by administration of pembrolizumab: A case report. *Fukushima Journal of Medical Science*. 202212; 68(3):191-195.

Watanabe T, Soeda S, Endo Y, Okabe C, Sato T, Kamo N, Ueda M, Kojima M, Furukawa S, Nishigori H,